

要望書を提出

12月定例会では、全国育樹祭お手入れ行事が行われた「金尾山の管理・整備の継続を求める要望書」、ホンダ寄居工場の立地に伴う交通渋滞の解消などを目的とした「寄居町と小川町をつなぐ新たな道路の早期完成を求める要望書」の2件が議決され、埼玉県知事に要望書が提出されました。

金尾山の管理・整備の継続を求める要望書

11月16日の第37回全国育樹祭お手入れ行事は、金尾山に皇太子殿下をお迎えし挙行されました。昭和34年に昭和天皇、香淳皇后が第10回全国植樹祭でヒノキをお手植えされ、埼玉県内で唯一、全国植樹・育樹祭が行われた場所です。金尾山県有林には、昭和天皇の御製の碑、つつじなどの自然、名所があり、自然保護と育樹活動の象徴としてふさわしい管理・整備の継続、自主的な環境整備活動への継続した県の支援を要望する内容です。



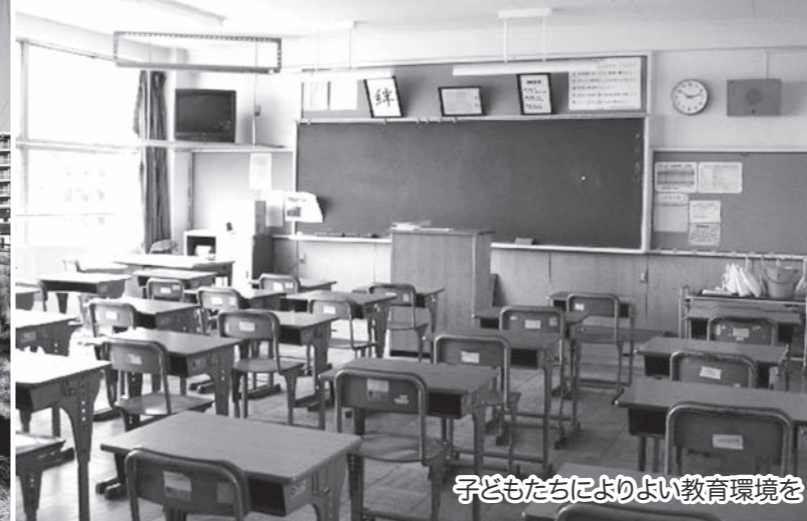
昭和天皇御製の碑
ひとひことうし苗木よ
年とともに くにのさ
ちんもなりて さかえよ

寄居町と小川町をつなぐ新たな道路の早期完成を求める要望書

寄居・小川道路は、ホンダ寄居工場の立地に伴う交通渋滞の解消と周辺住民の利便性向上を目的に、埼玉県・小川町・寄居町が分担区域を定め、整備を進めています。平成25年9月の寄居工場の本格的稼働後、国道254号や周辺道路の交通渋滞は予想以上になりました。住民生活に支障が出ないように、寄居・小川道路の県担当分の整備をより進めるよう要望する内容です。



用土グラウンド



子どもたちによりよい教育環境を



皇太子殿下によるお手入れ行事

用土グラウンドの管理と活用案は



おかもとやすあき
岡本安明
議員

答弁→当面、運動施設として活用します

地域の施設活用

問 用土グラウンド(旧本田技研寄居グラウンド)の有効活用(南側・北側)について、現在の町の所管及び管理状況を伺います。

答 所管課は財務課です。南側のAグラウンドは、引き続き本田技研工業(株)に貸しつけています。北側のBグラウンドは、利用実績のある団体等に貸し出しを行っています。

問 南側のAグラウンドは荒れた状態で、近所の人も困っています。私有地の本田技研工業(株)による原状回復がいつごろになるのか伺います。

答 町では、本田技研工業(株)に今の状況を再三照会していますが、具体的な時期については明確に示されていません。

問 さらに有効活用の具体的な案は。

答 当面運動施設として利用します。全般的な土地利用のあり方について、将来的な町の方向性を踏まえ、今後の検討課題です。

冷暖房設備の設置は

問 用土コミュニティステーションの冷暖房設備について、設置する考えがあるか伺います。

答 管理上の問題があることから、今後の検討課題と考えています。

問 JR用土駅ホーム東側に隣接するJR東日本の土地を活用して、桜の植栽をしたらどうかと以前に質問しましたが、その後の進捗状況について伺います。

答 考えについては、東日本旅客鉄道株式会社の担当部署に伝えてあります。

町で土曜授業を実施する考えは



すずきえいこ
鈴木詠子
議員

答弁→現在、実施の考えはありません

問 子どもたちが家庭や地域で過ごす時間を増やすとの趣旨で完全実施された学校週5日制ですが、現在「脱ゆとり教育」への声が高まっています。文部科学省は本年3月に「土曜授業に関する検討チーム」を立ち上げ、土曜授業のあり方について検討を進めてきました。そこで町内の土曜授業の実施について、当町のお考えを伺います。

答 学校週5日制は保護者や関係者の理解と協力のもと、制度として定着しています。現在のところ、土曜授業実施の考えはありません。

学力テストの課題と対策は

問 町内小中学校の学力テストにおける課題と対策について伺います。

答 思考力や表現力を高めていく必要があると考えます。そこで、町の学力向上委員会を中心に授業改善のポイントを各校に提示しています。

問 土曜日の教育環境に関する保護者アンケートの実施について伺います。

答 実施については考えていません。

問 学校応援団を活用した土曜日の学習支援について伺います。

答 現在、学校応援団を活用した土曜日の授業は行っていません。

問 今後の土曜授業の実施は各自治体の教育委員会の判断に委ねられていますが、お考えは。

答 今後、国の動向を踏まえて研究していきます。

全国育樹祭を契機とした今後の取り組みは



おおひらひさゆき
大平久幸
議員

答弁→森林の保護や木材の利用拡大に努めます

問 森林には、水源涵養・土砂崩れの防止・保健休養・二酸化炭素の吸収等があり、その機能を十分発揮させる森林を守り育てる大切さを普及啓発するため、11月16日寄居町で全国育樹祭が開催されました。全国育樹祭の開催をどのように受けとめたのか伺います。

答 緑を守り育てる機運の醸成だけでなく、さまざまな面で町にとって意義あることです。今後のまちづくりに生かしたいと考えています。

問 育樹祭の記念として、また金尾山の観光として記念となるものをつくる考えがあるのか伺います。

答 県有地ですので、そうした声を届け、働きかけをしていきたいと考えています。

町の取り組みや対策は

問 開催テーマは「育てよう みどりは未来の たちからもの」です。当町には「名水百選」「水源の森百選」「日本100名城」「日本の里山百選」等、自然や歴史・文化資源があります。樹木を「育てる・守る・使う」の3分野の県内の取り組みや課題についての紹介がありました。町の取り組みや対策について伺います。

答 本田技研工業(株)等の団体が植林や下草刈り、間伐など森林を育み、守る活動を行っています。町は団体の活動に支援・協力するとともに、緑の募金活動や森林整備補助事業に取り組み、森林保護・育成に努めています。また、木材の利活用についても、町民への周知を図り、公共施設での利用拡大に努めていきたいと考えています。

全国育樹祭

土曜授業